



沢辺税理士事務所通信

令和 7 年 11 月 1 日号
NO. 141

※※※ 金(ゴールド)暴騰！これもインフレの波なのか ※※※

金(ゴールド)価格の上昇が止まりません。金は株式や債券と違って発行体の経営難で紙クズになる等のリスクがないので昔から安全資産として知られており、2019 年ころから価格も少しずつ上昇していました。しかし今年の 9 月初めから価格は一気に上昇し、ピークを付けた 10/17 までの 1 ヶ月半ほどで価格はなんと約 25% も上昇しました。そしてそんな声を聞いてか金を買って求める人は一気に増え、金販売大手の田中貴金属では、**銀座本店前に 5 時間待ちの行列ができ、その後 5g や 10g などの小型の金の製造加工が追いつかないため一時販売停止になった**(R7.11.1 現在も再開していない)というニュースまで出ました。また金だけでなく、銀やプラチナなどの価格も大きく上昇しました。

最近の上昇は異常すぎるにしても、なぜ金価格は上昇し続けているのでしょうか。一番大きな理由は、中国がアメリカ国債の保有を減らすために売却を続け、その資金で金を買って金保有量をどんどん増やしているからです。買いニーズが増えれば価格も上がるわけです。

ではなぜ中国がアメリカ国債を手放しているかというと、**ロシアがウクライナに侵攻したことの対抗措置としてアメリカがロシアの米ドル資産を凍結したことが、中国にとって強い衝撃だったから**だと言われています。理由はそれだけではないかもしれませんが、確かに 2022 年以降金の上昇カーブはより強くなっています。

ただ理由はそれだけではなく、ドルの信任が揺らいでいて、投資家がドルから金に資金を動かしていることも大きいようです。**アメリカの財政赤字が拡大を続けていること、雇用悪化により利下げ傾向であること、戦争等の地政学リスク上昇していること、また世界的なインフレ傾向が続くこと、これらの全てが「ドルを売って金を買う」原因**になっています。

また円も同じことが言えると思います。ドルの信任が揺らいでいても円高ドル安にならないのは円も下落しているからで、今は「円安ドル安」の状態になっています。

相場的には、普段は金など買ったことが無い人まで行列を作って買いに並ぶというのは価格のピークであることが多いので、短期的には価格は今後落ち着くような気がします。しかし長期的には上記のような上昇理由が急に無くなるとは思えないので、資産の一部は金で持つておくという備えも必要かもしれませんね。

※※※ ここからは事務的なお知らせです ※※※

- ① 広島県の最低賃金が令和 7 年 11 月 1 日から 1,020 円→1,085 円に改訂されました。
- ② 年末調整の時期となっております。扶養に入られる方の年収判定が 103 万円→123 万円に改訂されています(給与収入のみの場合。③も同じ)。
- ③ さらに 19~22 歳で扶養に入られる方の年収判定は 150 万円までになり、150~188 万円の方も一部控除があります。該当の方は「特定親族特別控除申告書」の欄に記載ください。